

病院と地域のつながりを深めよう

広島大学病院
在宅緩和ケア事業研修会
(オンライン開催) 要申込

■ テーマ

「がん患者の就労を通して、患者の生きがいや
社会とのつながりを考える」

■ 講師

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院

サポーターケアセンター/がん相談支援センター 坂本 はと恵 先生

がん患者の長期生存が実現しつつある今、医療現場では今まで以上に、治療により変化した患者さんの社会生活と生活の再構築にむけた支援が求められています。本講演では、医療現場と社会のネットワークが連携しながら、患者さんの「働く」を支援することについて解説させていただきつつ、今後のあり方について、皆さんとともに考えたいと思います。

■ 講師略歴

社会福祉士・精神保健福祉士。日本医療ソーシャルワーカー協会理事、肺癌患者向けガイドライン小委員会委員、日本緩和医療学会緩和ケア普及啓発WGP委員ほか

精神科領域、国立がんセンター中央病院での勤務を経て、

2004年 国立がん研究センター東病院に異動、患者・家族支援相談室の立ち上げに携わる

2014年 サポーターケアセンター/がん相談支援センターに組織改組

2016年 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 サポーターケアセンター/がん相談支援センター 副サポーターケアセンター長 就任

現在に至る



■ 日時/開催方式 司会・進行：倉田 明子(広島大学病院 緩和ケアチーム医師)

2024年9月13日(金) 18:00~19:30 /Zoomを用いたオンライン開催

■ 対象者 がん診療に携わる医師・看護師・薬剤師 他 医療従事者

■ 申込方法



QRコードを読み取り、
申込フォームに入力後送信してください

■ 申込締切 2024年9月6日(金) 17:00

お問い合わせ：広島大学病院医療支援グループ ☎082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院)
(共催) 広島市立広島市民病院、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 広島大学次世代のがんプロフェッショナル養成プラン